

より良い景観検討のためのカルテ（チェックシート）

記入年月日：令和7年 9月 16日

チェック担当課：施設マネジメント課

事業の概要	
事業名	川西市黒川里山センター南北棟耐震改修事業
事業個所・対象地	黒川公民館（旧黒川小学校）
事業期間	令和2年4月～令和7年2月
事業の対象となる 公共施設等	<input type="checkbox"/> 道路 <input type="checkbox"/> 橋梁 <input type="checkbox"/> 河川・水路 <input type="checkbox"/> 公園・緑地 <input checked="" type="checkbox"/> 公共建築物等
事業に含まれる要素 （個別指針より）	<input type="checkbox"/> 法面・斜面 <input type="checkbox"/> 擁壁 <input type="checkbox"/> 護岸 <input type="checkbox"/> 舗装 <input checked="" type="checkbox"/> 付属施設（防護柵、公共サイン） <input checked="" type="checkbox"/> 建築物
構想・計画段階（各事業共通）	
項目1	景観形成の指針を把握する。
項目2	共通指針（全体指針 A-1～A-5、B-1～B-5）の内、本事業で特に配慮する指針と具体的に配慮する事項を記入する。
B-3	既存建物と仕上げ材を尊重し、同様の素材を選定するとともに、周辺の里山景観との関係性が損なわれないような形態、意匠となるような計画とする。
B-4	室外機、プロパンガス等の屋外設置物は木製ルーバーで遮蔽し建物と調和するような計画とする。

設計・施工段階 / 公共建築物等		
基本指針、共通指針、景観類型別指針を踏まえた「より良い景観検討のための景観配慮事項」への対応と、具体的に配慮・検討した内容を記入する。		
✓	より良い景観検討のための配慮事項	配慮・検討した内容
<input checked="" type="checkbox"/>	歴史的建造物の保全に配慮し、必要に応じ、複合的に活用した計画を探る。	耐震改修に合わせ老朽部分の改修を行い、景観形成重要建造物の保全に努める。
<input checked="" type="checkbox"/>	<p>形態・意匠・色彩（デザイン）は、地域の伝統的な素材や色彩の活用に配慮した計画を探る。</p> <p>【具体的配慮事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落内の建築物や伝統的なまち並みにおいては、瓦屋根や板張り、しっくい壁の白色、土壁や木材等に見られる薄いベージュ色、和瓦に見られる銀ねず色等と同じ材料、素材を用いることで、周囲のまち並みとも調和しやすくなるため、同類の材料や同系色の色彩を積極的に使用する。 ・ただし、大規模建築物などの大きな壁面で白色を用いると、周囲から際立ってしまい、不調和になることがあるので注意が必要。 ・彩度の基準（景観形成基準） R,YR系6以下、Y系4以下、その他2以下 	<p>既存と同等品・同色での改修とし、屋根は瓦、外壁は漆喰及び焼杉板とする。耐久性と景観に配慮した色彩とする。</p> <p>屋根：地瓦 N3</p> <p>外壁：漆喰塗り 5RP9/0.5 焼杉板 10YR3/1</p>
<input type="checkbox"/>	<p>植栽は、敷地内・外からの見え方を意識した樹種の選定・配植を検討する。</p> <p>【具体的配慮事項】</p> <p>規模に応じて、県条例・開発指導要綱の緑地面積を確保</p>	
<input checked="" type="checkbox"/>	柵・フェンス等は、閉鎖的にならない意匠・色彩を検討する。	外構部の手摺、柵は既製品を採用し、景観に配慮し、彩度を落とした色彩とする。
<input checked="" type="checkbox"/>	施設名表示や案内板等のデザイン統一化を検討するとともに、シンプルで控えめなデザインを検討する。	案内板等は既存の再利用とし、製作分についてはシンプルなデザインに統一し、見やすいものとする。

維持・管理段階（各事業共通）	
項目 1	景観形成の指針を把握する。
項目 2	共通指針（全体指針 A-1～A-5、C-1～C-4）の内、本事業で特に配慮する指針と具体的に配慮した（する）内容を記入する。
C-2	施設改修後に清掃、美化等による適切な維持管理が行われないことは、景観形成上悪影響が大きいことを理解し、日常的な清掃・美化に努める。
C-3	今後整備段階時の主体と異なるものが指定管理者として、維持・管理を行うことになった場合でも、施設の景観形成上の意図把握に努める。
C-4	経年による劣化や、維持・管理上の課題、利用形態等の変化等によって、新しい要素を導入する場合には、当初の景観形成上の意図を把握した上で検討を行う。

「川西市公共施設等景観形成ガイドライン」着工前・完了後
事業名 川西市黒川里山センター南北棟耐震改修事業

着工前(北棟)



完了後(北棟)



「川西市公共施設等景観形成ガイドライン」着工前・完了後
事業名 川西市黒川里山センター南北棟耐震改修事業

着工前(南棟)



完了後(南棟)

